

平成23年度の主要な政策と予算！

『確かな力で心のかよう幸せなまち』 を目指して



幸田町長
大須賀 一誠

未曾有の大災害となった東北地方太平洋沖地震の被災者の皆さんに心からお見舞いを申し上げますとともに、本町においても災害対策を今一度見直し安全・安心な体制を確保してまいります。

新年度の予算編成にあたりましては、景気の低迷は長期化が予想され、本町においても税収の回復は見込めず厳しい状況の中、第5次総合計画を指針に、持続可能で健全な財政運営に努め、住民サービスの維持、向上と町政の健全性の両面のバランスを執り、「確かな力で心のかよう幸せなまち」の実現を目指し、当面、新規の箱物には着手せず、維持補修を積極的に行い、人命・財産にかかわる安全・安心問題を最優先に取り組み、子育て支援・障害者支援など生活に密着した施策に配慮し、予算を編成いたしました。

平成23年度 当初予算

● 一般会計

予算総額

154億2,000万円

一般会計は、町が行う仕事の大部分を賄う予算で、町税や国・県からの支出金などを財源にしているもので、町民の皆さんに最も関わりの深い予算といえます。

● 特別会計

予算総額（7特別会計）

63億7,512万円

特別会計は、特定の財源で特定の事業を行うもので、土地取得特別会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・幸田駅前土地区画整理事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・下水道事業特別会計があります。（老人保健特別会計は廃止）

● 企業会計

収益的支出

6億6,999万円

資本的支出

7億6,382万円

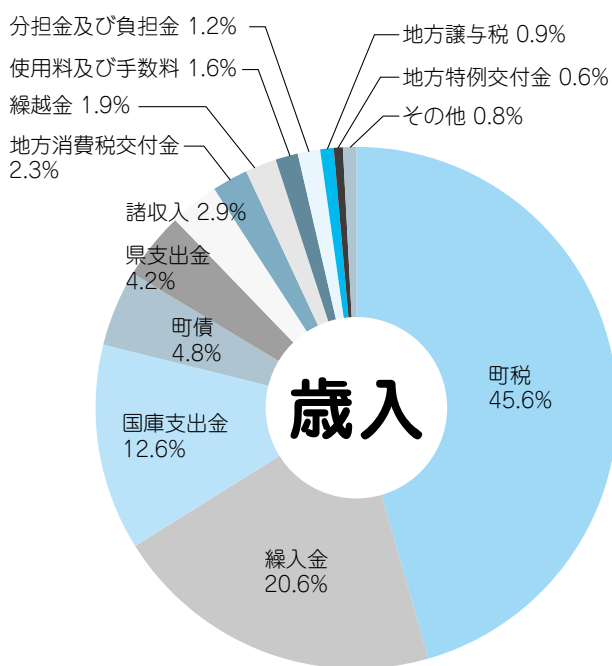
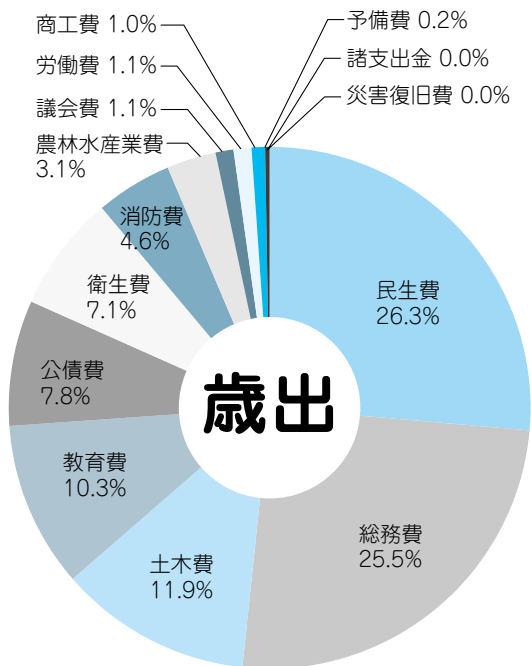
企業会計は、税金を使わず、一つの会社のように独立採算制で事業・経理を行うものです。本町では、水道事業会計がこれにあたります。

(▲減)

会計区分	平成23年度予算	平成22年度予算	伸び率(%)
一般会計	154億2,000万円	126億4,000万円	22.0
特別会計			
土地取得特別会計	9,075万円	2億679万円	▲56.1
国民健康保険特別会計	30億3,202万円	29億2,458万円	3.7
老人保健特別会計	-	236万円	廃止
後期高齢者医療特別会計	2億4,747万円	2億7,054万円	▲8.5
介護保険特別会計	13億9,706万円	12億8,177万円	9.0
幸田駅前土地区画整理事業特別会計	5億4,927万円	5億376万円	9.0
農業集落排水事業特別会計	3億4,386万円	4億1,884万円	▲17.9
下水道事業特別会計	7億1,469万円	7億4,866万円	▲4.5
水道事業会計			
収益的支出	6億6,999万円	6億6,408万円	0.9
資本的支出	7億6,382万円	7億5,035万円	1.8
合計	232億2,893万円	204億1,173万円	13.8

平成23年度幸田町一般会計

歳入歳出予算総額 154億2,000万円



歳出

歳出を費目別に見ると、民生費が全体の26.3%を占め、次いで総務費25.5%、土木費11.9%となっています。総務費は平成24年3月開業予定の新駅建設負担金などにより、前年度に比べ15億9千万円(67.8%増)と大幅に伸び、民生費も子ども手当の増額などに伴い4億円増(11.0%増)、土木費でも新駅周辺整備・生活道路舗装などで3億1千万円増(20.8%増)などにより過去最大の予算額となりました。

歳入

最も大きな割合を占めている町税は回復せず、ほぼ前年並みの70億2千万円ですが、新駅関連や税收不足を埋める基金繰入金(31億7千万円)で、全体の20.6%となり、構成比では11.8%増と大幅に伸びています。また、子ども手当や新駅関連などにより国庫支出金が、前年度に比べ6億3千万円の増となり、全体の12.6%を占めています。

主な区分の内容

歳入：1年間のすべての収入

〔町税〕町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など歳入の貴重な財源

〔繰入金〕積立してある基金(貯金)の取り崩しまたは、特別会計から繰り入れるお金

〔国庫(県)支出金〕特定の事業の財源の一部として、国(県)から支出されるお金

〔町債〕大きな事業を行うために、国や金融機関などから借りるお金

〔地方譲与税〕国税として徴収し、地方に譲与する地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税

歳出：1年間のすべての支出

〔民生費〕お年寄りや子ども、障害者など福祉や医療などに使われるお金(子ども手当など)

〔総務費〕町職員の給与や町の財産の管理などに使われるお金(新駅建設負担金など)

〔教育費〕小・中学校、ハッピーネス・ヒル・幸田の運営や生涯学習講座などに使われるお金

〔公債費〕町債を返済するお金

主要な施策

●は新規事業

①安全で快適な都市の 基盤・生活の環境づくり

町民が安全で安心して暮らすことができるよう、安全性、利便性、快適性の高い都市環境の整備に努めます。

●安全・安心対策

- ・ ①防災無線デジタル化電波伝搬調査
 - ・ 遠視カメラによる災害監視
 - ・ 民間不造住宅耐震診断、耐震改修支援
 - ・ 中央小防災備蓄倉庫設置
 - ・ 自主防災組織育成
 - ・ 自主防災会可搬動力ポンプ更新
- ### ●消防・救急
- ・ ①はしご自動車更新
 - ・ ①新消防救急無線デジタル化基本設計
 - ・ 防火水槽設置



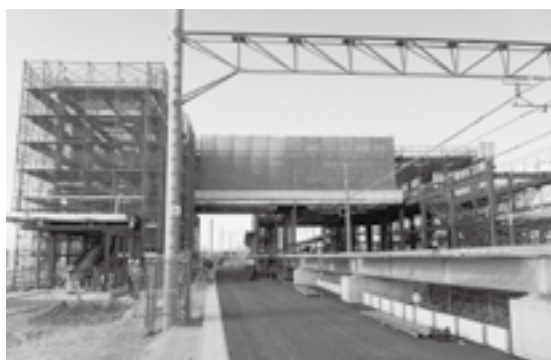
▲写真は更新するはしご自動車と同じタイプのもので

●交通・防犯

- ・ ①防犯カメラ設置
- ・ ①LED防犯灯設置
- ・ 地域安全ステーション運営
- ・ 自主防犯活動支援
- ・ 通学路グリーンベルト整備
- ・ 消費生活の安定向上

●道路・橋梁整備

- ・ 坂崎野場1号線、海谷上一木1号線他道路整備
 - ・ 生活道路の舗装、側溝整備
 - ・ 橋梁点検調査
 - ・ 道路区画線補修
- ### ●基盤整備
- ・ 新駅および自由通路設置
 - ・ 新駅駐車場、周辺道路整備
 - ・ 幸田駅前地区土地区画整理推進
 - ・ 区画整理新規地区（岩堀・六栗・里）組合設立



▲平成24年3月開業予定の新駅

●下水道（公共下水・集落排水）

- ・ 相見処理分区の整備推進
- ・ 矢作川流域下水道建設負担
- ・ 農業集落排水事業13地区維持管理

●上水道

- ・ 第3受水点施設整備
- ・ ライフライン機能強化（耐震管）
- ・ 土地区画整理事業関連配水管布設

②環境と調和する まちづくり

自然との共生を図り、緑豊かで環境にやさしいまちづくりを推進します。

●環境対策

- ・ ①電動アシスト自転車購入支援
- ・ 住宅用太陽光発電システム設置支援
- ・ 自然観察会・環境学習会開催
- ・ 生ごみ処理容器等設置支援



▲電動アシスト自転車

●都市公園整備

- ・ ①相見地区公園整備
- ・ 公園遊具・施設整備補修

町民一人当たりの予算の使い道（一般会計）

40万6,549円

（前年度金額 33万7,995円）

* 予算額を平成23年3月1日現在の幸田町の人口3万7,929人で割って算出しました（1円未満四捨五入）

1	民生費	10万6,913円	（9.4%増）
2	総務費	10万3,595円	（65.5%増）
3	土木費	4万8,170円	（19.1%増）
4	教育費	4万2,056円	（6.9%増）
5	公債費	3万1,805円	（5.3%増）
6	衛生費	2万8,840円	（3.6%増）
7	消防費	1万8,615円	（22.9%増）
8	農林水産業費	1万2,593円	（6.2%減）
9	議会費	4,502円	（28.6%増）
10	労働費	4,280円	（85.4%増）
11	商工費	4,063円	（1.0%増）
12	その他	1,117円	（24.6%減）
	合計	40万6,549円	（20.3%増）

③ 多様な産業が育つまちづくり

培われた地域産業を生かし、まち全体の調和の中で創造性の高い産業振興に努めます。

●農村・農業振興

- ・新 農業活性化支援
- ・新 筆柿選果機洗別システム導入(22年度繰越明許事業)

- ・林道整備
- ・里山林等整備
- ・農地・水・環境保全向上対策
- ・産業まつり
- ・鳥獣害対策電柵等補助

●商工・観光・勤労者対策

- ・新 商工観光業活性化支援
- ・幸田駅前駐車場整備
- ・緊急雇用対策
- ・優良企業の誘致推進
- ・商工業経営安定対策の推進
- ・勤労者住宅資金利子補給
- ・彦左まつり
- ・しだれ桜まつり

④ 健康・福祉のまちづくり

町民一人一人が、心身ともに健康で生きがいをもって暮らしていける地域社会を形成していきます。

●健康づくり

- ・新 子宮頸がん等予防ワクチン無料接種

- ・新 働く世代の大腸がん無料検診
- ・女性特有のがん検診
- ・一般不妊治療費助成
- ・みんなで育む健康こつた21計画の推進

人間ドックはじめ各種健診、予防接種の実施

- ・健康福祉まつり

●高齢者、障害者福祉・介護保険

- ・新 在宅介護手当増額
- ・新 地域バス追加購入
- ・障害者自立支援の推進
- ・介護予防対策の推進
- ・日常生活用具、補装具給付
- ・日常生生活用具、補装具給付

●児童福祉・保育園整備

- ・新 保育園、放課後児童クラブ全室エアコン整備
- ・子ども医療費無料化継続(中学校卒業まで)

⑤ 地域文化・人づくり

ライフステージに応じた教育・文化・学習活動の場づくり、環境づくりなど生涯学習の推進に努めるとともに、将来を担う子どもたちの健全育成を推進します。また、地域コミュニティ意識の醸成を図り、豊かな地域社会づくりを形成していきます。

●社会教育

- ・新 中央小放課後子ども教室新設
- ・生涯学習講座
- ・本光寺文化財調査
- ・青少年健全育成

- ・成人式
- ・夏まつり、凧揚げまつり

●スポーツ振興

- ・スポーツ教室開催
- ・市民スポーツ大会開催
- ・地区スポーツ大会支援
- ・町民大運動会開催
- ・新春駅伝・ファミリージュギング大会開催

●学校教育

- ・新 各中学校教室扇風機設置
- ・幸田小教室改造
- ・少人数、通級指導対応教育の推進
- ・日本語指導教員、母国語対応支援員配置
- ・外国人英語講師配置
- ・奨学金制度
- ・教育相談活動の充実

●国際化推進

- ・新 海外派遣交流校受入
- ・中学生海外派遣
- ・国際交流事業補助

●コミュニティ

- ・地区集会所施設維持管理
- ・コミュニティ活動支援

⑥ 健全な行財政による確かなまちづくり

住民が積極的に行政に参加できる開かれたまちの実現を目指します。また、長期的な視点にたち健全性を重視した、バランスのとれた行財政運営の確立に努めます。

●情報公開推進

- ・広報紙発行
- ・町政モニター
- ・ケーブルテレビ番組作成

●指定管理者制度

- ・町民会館、図書館、町民プール
- ・高齢者生きがいセンターおよび高齢者ふれあいプラザ
- ・道の駅「筆柿の里・幸田」

●行財政運営

- ・新 事業仕分け
- ・行政改革大綱に基づく事務改善の推進
- ・行政評価による事務事業の効率化
- ・公債費の抑制
- ・借地解消(用地購入)

本町の行財政運営は、税收の激減により大変厳しい状況下にあります。健全な財政を維持しながら、「満足度が高く納税者が納得できるバランスの取れた行政サービス」を目指し、「事業仕分け」など事務事業の見直しなど行財政改革を行い、まちの未来を見据えた施策を推進していきます。

諸施策の実施にあたりましては、町民の皆さんとの対話の中からいただいた貴重なご意見を可能な限り取り入れ、「開かれたわかりやすい行政」を展開していきます。

問合せ 財政課財政G

(内線332)